京城日報
夕刊
四月十五日（日）

半島に光明訪る 二大施設の發表

『小農救濟低資六百萬圓の融通』『地方民を寄附金地獄より救出』

けふ官邸で 池上總監より

池上政務總監は十五日午前十時官邸において小農に對する低利小口資金貸付の件及地方官の寄附募集に關する總督府の方針の二件を發表した、小農小口資金の件にあつては既設金融組合が中農階級以上に利用され小農階級は全然その恩惠に浴せずこれがため小農階級は高利貸と地主の誅求にあひこのまゝ放任するにおいては寒心すべき將來をまねく恐れがあるので今回五ケ年に六百萬圓の低利資金を支出し小農に融通せんとするものである、寄附募集の件は從來地方的施設、道路、橋梁、普通學校の新營等の場合關係住民は經費の幾分を寄附してこれが實現をはかつてゐたが寄附の强要が漸次弊に陷り、寄附は更に更に寄附事實上には公課と何等選ぶ所がなく住民は負擔に苦しみ、また寄附金が豫定通り集まらず困つてゐるといふ例は方面に制限外賦課に見受けられるので自發的篤志家の寄附金以外は特別税、制限外賦課又は受益者負擔等の方法によりその弊害を除去せんとするものである、兩者とも總督、總監の施政方針の片腕にして多分に社會施設的色彩があり好結果をもたらすものとされてゐる

高利の苦痛を救ふ爲 低資融通機關設置

金融組合の恩惠に浴せぬ 小農の救濟が目的

朝鮮の總戸數三百六十余萬戸農家は實に八割を占めその大多數は小農階級に屬するのでこれに對し適切なる保護政策を爲すとは統治上重要な事である、かの庶民金融機關として設けられた金融組合の如きも小農者にとつては充分に利用さるるにいたらず多數の小農者はやむなく資金を借入れ、これがために月五分から高きは月一割の高利を拂ひ、その結果、負債は増加し、生計また益々窮乏を加へ、遂に多年の生業を抛ち、家郷の情を捨て一家離散するの不幸に陷る者もすくなくない、洵に同情に堪へざる實情あるので、總督府では、この小農者生活の困難につき深く考慮し特にその保護救濟方法に關し、各般の施設考究中であるがまづ以て左の要領により、小農者に對し、少額の資金を、低利に、かつ容易に融通しうべき機關を施設し、以て益々その生業をすゝむると共に、その生活を安定ならしむべき一助たらしめんとするのである

貸付機關

一、小額生業資金貸付事業は面をして之を實行せしめ先づ部落單位に依り一部落小農三十戸内外を以て（何々）勸農共濟組合を設け一面平均四組合を標準とし組合員は其の部落に居住する小農にして金融組合に加入し居らざる者たること

二、組合に組合長を置き部落の有力者中より選定せしむること、但し當分の間面長を以て組合長を兼ねしむること

三、組合の指導に當らしむる爲め一組合に付一名宛の名譽職の勸農輔導委員を置き面協議會員又は有力者中篤志の者に付郡守又は島司が之を委囑すること

貸付方法

一、資金の使途は農耕資金、農耕養蠶副業資金其の他生業に必要なる資金に限り貸付限度は普通一人に付二十圓以內とするも特別の事情ある場合に於ては五十圓迄之を認むることを得ること

二、資金貸付は無擔保を原則とし利率は月一分以內とすること

三、資金の貸付を受けんとする場合は保證人二人を立て使途を明示して勸農輔導委員を通して面長に申込ましめ勸農輔導委員は申込者の實情を具體的に調査し意見を附して面長に申込書を送付することゝし面長は勸農輔導委員の意見に基き之を更に審査して貸付すべきものと認めたるときは本人に貸付金を交付すること

四、貸付期限は一ケ年以內とし其の辨濟方法は一時辨濟、月賦辨濟及特別辨濟の三方法に依ること

貸付資金

面內に於ける小農者數に依り所要額の資金を増減することあるべきも大體組合員一人平均二十圓として組合員一組合平均三十人とし一組合六百圓、一面四組合とし一ケ面二千四百圓見當を貸付する豫定にして全鮮二千五百面に行き渡るには資金六百萬圓を要する計算となるも本事業を一時に全鮮に亘り實行することは困難なるが故に五ケ年計畫を以て着手することゝせば每年度資金所要額百二十萬圓となり初年度分は道知事の管理に屬する臨時恩賜金を運用することゝ

高松宮殿下 玄宮御拜 遠洋航海へ

【東京電話】來る二十三日橫須賀軍港から練習艦八雲に御乘組遠洋航海の途につかせられる高松宮殿下には御別れの爲十五日午前六時半御自動車にて多摩御陵に向はれ玄宮大前に進ませられ恭しく御拜禮の上御歸京夕刻品川發直に八雲に御乘組ませられた

取引所の官營は當を得てゐない

取引所令の發布は必要 池上政務總監語る

仁川の米豆取引所が來年五月三十一日までで營業許可期間が切れ、また現在取引所令なるものがなく仁川の米豆取引所は會社令に準據してゐる等の點から總督府當局は取引所令の制定を急ぎ、京城の現物取引市場として市場規則で取締つてゐる現物取引市場に關する方針等を決定する必要に迫られてゐる取引所令の發布等により一部では各種複雜な現象の出來する事を恐れ取引所の官營論さへ流布されるにいたつたが右につき池上政務總監は左の如く語る

この問題は經濟界に重大な關係があるので愼重に決定する必要があるが、私としては取引所を官營にする樣な事は當を得てゐないと思つてゐるが、取引所令を發布する事は必要であらう、取引所令の發布と共に現物取引市場も取引所令に準據した制度にする事はまだ考へてゐぬ

自發的篤志寄附の他 一切寄附を望まぬ

特別税や利限外賦課並に受益負擔に財源を求める

池上政務總監語る

地方の發展民度の向上に伴ひ、近時地方の公共事業は著るしく多岐多端にわたり自然これら多くの地方的事業の施設經營の爲に各地方團體の財政も年をおつて膨脹を來たしまして、これと納税の關係にある地方一般人士の公共的觀念も著るしく進步し各種の地方的事業に貢獻せらるゝ處少くない狀になりまして、これ等地方の將來の發達を慫がるゝ爲寄附金等により少からざる犧牲を拂はれ、事業の達成を易からしめるゝやうに成りましたことは誠に喜ばしき傾向であり、當局においてもひとしく朝鮮の開發を希ふ點より深く敬意を表する次第であります。然しながらこれ等の場合にあつて各々在住の地方を慫慂せらるゝ余り、往々にしてその民度に比して過分にわたり、又はその一部の者のみの理解に止まり、他の多くは充分その內容を理解せずに賦課的に集めらるゝ事例が少くないやうでありますが、その結果として事業の途中豫定の寄附金の收納意の如くならず、爲に大切の事業が中途少からざる苦境に陷つたり、又は挫折したりする實例も從來必ずしも稀でなく、これに對する不平の聲をさへ聞く場合もあるのであります。斯くの種賦課的寄附金に付ては從來も相當取締つてはをりましたものゝ、中々目的を貫徹することが困難であるので、今回これ等の弊害を全然一掃せんが爲に、直接と間接とを問はず、いやしくも地方官干與の下に行はるゝ寄附は、たとへ事業の達成に寄與するものであつても、自今止めしめることに方針を改め、事業の爲に必要缺くべからざる經費は、自發的篤志寄附による場合の外は、特別税、制限外賦課又は受益者負擔等の方法によつて財源を得しむることゝし、更に一層地方の發展を期し實際に適應ならしむる事に、地方官にそれ〴〵その實を達成することに致したのであります、その職責は元より地方的公共團體の公正なる處理擔なりが、より以上嚴正であり公正でなくてはならぬといふことを希ふの一點に存するのでありますから、この本府の措置の存する所は地方の各位におかれても充分御汲み取りが願ひたいのであります、なほ篤志家の美はしき自發的の寄附を受けるといふことは勿論今後にあつても差支ないのでありますから、倂せて周知徹底を希望する次第であります。

奉海線車輛問題 解決の曙光見ゆ

羅文幹氏の懇請に應じて 芳澤公使常氏と會見

【北京十四日發聯合】芳澤公使は羅文幹氏再三の懇請に應じ十三日午後七時外交部に赴き羅文幹および常蔭槐氏と晩餐をともにした後奉海線問題に關し十四日午前三時まで數時間にわたり重要な交渉を重ねた右內容は秘密にされてゐるが支那側はこの交渉において改めて懇談協定を改正復活し車輛が十八日の奉海線洮昂車輛使用契約期限滿了を機會に洮昂線に返還し双方の諒解を獲得することによつて紛糾した問題を一段落とせんことを提議し日本當路および滿鐵の同意をうべく芳澤公使の斡旋を求める所があつたが公使は之に對し更に支那の不當な處置に反省を求め新に提議し來つた解決案は考慮するに決したと

全部の承認は疑問

【奉天十四日發】某所消息によれば北京にて奉海線問題解決したとの事であるが右につき總領事館の見解では『奉海線問題は非常に複雜で解決したといふも恐らく北京に於てのみのことで政府が果して全部を承認するかは斷言出來ぬ、從つて奉天では政府の訓令が來ぬ限り現在の態度方策を持續するよりほかに途はない』

辭令（東京電報）

補鎭海要港司令部參謀 海軍中佐 小島秀雄
補橫須賀海軍工務部付 第二十五潜水隊司令 中佐 鋤柄玉造
補鎭海要港部參謀 海軍少佐 小林謙五
補米國在勤帝國大使館付

再解散なら 又々大支障

案じられる朝鮮豫算 草間財務局長語る

【釜山特電】臨時議會參列の爲め上京の草間財務局長は十五日朝釜山通過東京に向つたが水口知事と懇談の後記者に語る

臨時議會の成行は險惡の模樣に傳へられて居るが若し議會の成行きによつて政局に變化を來たす樣なことがあつた時は朝鮮關係の豫算は又復大支障を來たすので頗る憂はれる、圓滿に開會して貰いたいものである國境其の他警備問題に就いて重大な打合せの爲め警務局長が東上したと見られてゐるが特に國境其他警備を現在以上に充實するとすれば勿論多額の費用を要するであらうが未だ具體的の話は聞いて居らぬ

人

◇山崎猛氏（滿日社長）上京の途次十五日午前十時入城直ちに總督を訪問朝鮮ホテルへ
◇後藤雄氏（大朝記者）十五日朝京城發本社赴任

銀行條令の改正を要望と同樣に內地の銀行條令と同じ趣旨の下に實施するの件もあるが要望は倂合當時より銀行と金融は大藏省の直轄になつて居る關係があるが朝鮮は事情も異る點があるので特殊の條令を必要とする信託法の施行の如きも亦然りで目下調査會委員會に於て研究中であるが、何日々具體的の案となつて發令を見るか未定である

大每聯合會開會 十五日午前十時より京城取引所において大每朝鮮通信會京城及び九州朝鮮大每會聯合會を開き本山社長以下重役幹部から百十名出席通信販賣上の要務協議をなした尚ほ夕刻本町花月本店に聯合懇親會を開いた

劒俠艶魔

幕末秘錄（其廿七） 渡邊默禪

怪魔を逸す

そのなかに國の國吉も加はつてゐた。彼はやつとお香に接近し一度いひかけた刹那に突發した椿事のために混亂のるつぼのなかにまき込まれて、死なぬだけの苦しい思ひをさせられたのが、精悍な男だけに木戸口に泳ぎ拔け、避難者の老人や小兒を幾人か救ひ出したが肝心のお銀姉妹の姿が分らなかつたのでひどく心配し、樽の下をそちこちと驅廻つた末、表門の方面を搜索すべく、避難者の群と共に藩邸を出て、こゝに來かかつたのであつた。

『をやツ、お銀さんぢやねえか。』

『やア。』それは國吉千萬。身僞が附合せたならその場を去らせず怪賊の頁魁を手捕にして、お手前に仇討をさせたものを、さて〳〵惡運の强い奴だ。しかし、お香どのが侍體の男と、お手前の弟らしい男と、若い小僧と三人連立つて、この大騷ぎへ來てゐるのがおかしい。何か事情があらう。兎も角、同志の者と要談もまだ殘つて居ることゆえ、明後日一杯は滯在しなければなるまい。その間二人で出來うるだけ、方々をさがして見るがよい。或ひは喜八なりお香どのなりに再會せぬとも限らんからのう』

『はい。さういたしませう』

小屋を燒かれた興行主は長崎の香具師與八といふ者であつた。それが町奉行に呼び出されて出火につききびしい吟味を受け一座の人だちは宿屋に置いてきぼりを喰つて、成行によつてはそのまゝ解散、長崎へ引あげなければならないやうな災難にさしかゝつてゐた。

そこへお銀が金月園を逃り込んで事情を聞き、鎭の露に思つて勇吉へ救濟方を相談した。で、勇吉は長州屋敷に出入の遠鶴問屋北澤の帳兵衞といふ者を說き、その手で京都の東町奉行所の方を運動した結果香具師の與八は帳兵衞預けとなつた。間もなく無宿の自身番から突き出された唐人新文兵の白狀によつて、放火といふことが判り、與八は『御構ひなし』とあつて太夫の大衆と一座を引つれ、大阪を出發して東に向つた。

その際、勇吉はお銀、國吉と共に京都の五條東洞院升屋吉五郎方に滯在して同志と密會し、ひそかに天下の形勢をさぐりつゝあつた

やい、この泥坊主、何をしやあるんだ』

それと見た彼は憤然として躍り出した、手近の卒塔婆を拔きとつていきなり前の首筋を撲りつけると、ウンといつて卒倒した、喜八は驚いてお銀を捨て、嬢をかつだまゝばた〳〵と逃げ出した、その時お銀は起きあがつて、

『喜さん、早くあの子を……あれは、泥だよッ、泥が嬢ちやんを攫つたのだ、早く取り返してッ』

『えッ、泥。あの大坊主が……そりやア好い物に廻つた。やい、待てツ』

喜吉は急いで追つかけた。他の若者だちも加勢して背後から礫を投げつけ、泥坊〳〵と罵しつて追ひ立てた。表門にはドン〳〵町火消が繰込んで來た。度を失つた喜八は、つひに嬢を投げ出し、土塀を飛越えて行方を晦ましてしまつた。

騷ぎは藩邸を拔かれて火元となつてゐるところを、若者だちに捕へられた極惡漢の手によつて放たれた火は、見世物小屋三軒のほか、地續きの區屋宿一棟を燒き落し、混亂のなかに少からぬ死傷者を出して、間もなく鎭火した。騷ぎの中心であつたゞけに、國吉は

あすの天氣【16】

高氣壓は滿洲北部から朝鮮及び支那大陸に擴がつてゐるがその配置不定で木浦附近には小低氣壓がある、その爲め南鮮は雨、中部は曇つてゐるが北鮮地方は天氣がよく氣温は昨日に比しやゝ下つてゐる明日は天氣がよい

豫報 晴後曇

氣温 十五日正午 十四日最低

地圖と電氣器 龍山練兵町 電話京五一〇 小林又七朝鮮出張店

林病 消渇

採算を度外せず、興味ある増資株、特殊事業 一年二割以上配當 一年後株價倍額確實、拂込增資計畫の會社御申込次第內容詳報す 東京芝區南佐久間町二ノ一〇 株況時報社

株式會社安川電機製作所（在庫豐富） 安川モートル 朝鮮總代理店 鈴木尚重商店 電話本三三二四一番

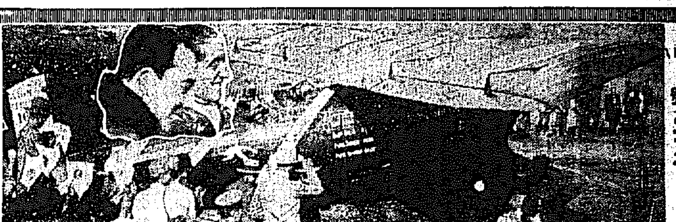
僅か二ケ月で電療得學士になれる 獨占的新職業 ▼男女何人にても責任指導す▲ 東京電氣療法研究所

鮮滿第一
本火酒發賣
從來鮮內釀造酒は灘本場酒と同樣の香味は出來ないものと思つて居りましたが弊社の醸造酒は嘉納合名會社技師指導の下に最新科學を應用し其精白も三割以上の搗減りを以て醸造したるが爲に灘酒と同樣の優良酒が出來上りました事は弊社の誇りとする處であります今回此優秀なる新釀酒を五月一日より發賣致します一層御引立下され其眞價を御認め下さる樣御願ひ致します
昭和三年四月
株式會社 増田屋商店 仁川本店、京城本店

京日案內
賣地 帳場 花見 主任

皮膚科 淋疾 黴毒 塩井醫院
小店員募集 青木堂京城支店
特別案內
被雇 求職 人事 刀劍 恩給 黑燒 恩給 帽子 恩給 看板 玉突 恩給 貸間 自動車

佛機世界一周
征空の壯圖成る


（ナンゼツセー、コリー號とコスト、ルブリ兩氏）

コリー號 マルセーユ着

【マルセーユ十四日發電】ナンゼツセー、コリー號は一時二十分マルセーユに到着したが同三時パリへ向ひ飛行の途についたパリ着は六時半乃至七時頃となる見込みである

飛來の報にパリ市民狂喜
潮の如く着陸場へ

【パリ十四日發電】午後四時コスト、ルブリ兩氏搭乘のナンゼツセーコリー號、晴れのパリ入りは本夕六時半から七時の間と發表され同機マルセーユ發の飛報に躍り上がつたパリ市民は陸續として郊外ル、ブールゼー飛行場に殺到し警官隊は軍隊と協力し着陸場に侵入する群衆の制止につとめてゐるが自動車毎に潮の如くに押寄せ來る群衆の數は刻々に増加しつゝあり、リンドバーグ大西洋一番乘パリ着當時以來の熱狂振である

歡呼のうちに
無事にパリに着く

【ル、ブールゼー十四日午後七時發電】コスト、ルブリ兩氏のナンゼツセーコリー號は本夕六時十六分嵐の如き歡呼の聲に迎へられつゝ暮色迫るル、ブールゼー飛行場に無事着陸した、東京出發以來の所要時間は僅々六日と二時間、歐亞連絡空前の大レコードはかくして完成せられた

パラソル陽に映ゆる 八百の夫人令孃
花―はじめての日曜を 本社の婦人見學

一點の雲もなく十五日の京城は圓な春日である。風もなく晴れきつたこの日の朝、本社主催第十九回婦人見學が行はれた總督府醫院正門、春陽にパラソルを色めかして、婦人連がそこかしこからやつてくる。くる電車もくる電車も、婦人を滿載して醫院は人に埋もり婦人の王國となつてしまふ。京城女學校の生徒、龍山婦人會その他の婦人團體で總人八百、よき日のよき企てはこの數が如實に語りあらはして居るのである。定刻の九時かつきりと

病院正門 の大時計が長針を垂直に短針を水平に指した時、婦人見學團は病院大講堂に入つた、座席一つのあきもない、講堂は美しい婦人、令孃、妙齡の人々で一ぱいであり、黒髮のゆらぎにもこゝろよい雰圍氣にも今日の喜びは見られるのである、婦人の見學でかく時間を嚴守されたことも本團のみで誇りうる事であらう。宇賀本社副社長の挨拶がすむと

土橋博士 が壇上に立つた、聽衆が息を呑むと、博士の明せきな語がすきとほる、平易な口調で、親みの態度で『小兒科領域に於る牛乳の價値』の講演が興味深く聞かれる、講演四十分、大略でこれがすむと、一同係員の案內で、外來診察所に入り、病院で各種の研究資料となつて居る參考標本を一々見る細菌學の權威山林研究部博士は『闇』『寄生虫』の印刷物を各婦人に配布された、參考標本の外に看護婦養成の製作である手藝品や生花にも婦人らしく小さく驚嘆の聲をもらしながら見て、更に廊下づたひに

病院內に 入り病院建物前を左に折れて東大病院から通用門を拔けて名苑回春苑に入つた

燃ゆるつゝじ
回春苑の美觀

朱鷺ともゆるつゝじは今や滿開の回春苑つゝじのトンネルがつゞく名苑內のうぐひす谷の渓々が美しい婦人連が、美しき綾な衣裳でこゝをぬふのは正に『春』と題する一幅の洋畫とも見られる

志賀博士も輕裝で參加し、宮田機を婦人の群に向けて興じ、小林、土橋兩博士や、吉田庶務課長等も婦人の群の中にまじる、林間に設えた卓子が婦人で占められ、茶亭も人を入れ、更に木蔭に、草の上に、腰をおろして病院から接待の茶にのどをうるほし美景に見惚れる

少憩ののち、午前十一時一同美しい花の列をくんで、和やかな氣分を漂はせて、えんえん數十間にわたる苑は朝鮮の最高學府たる京城大學に吸ひこまれたこゝはまだ未完成のものが多いが、醫學部內を見て、とも角、最高學府の威容を一瞥してこゝから更に東小門外なる郊外の春色をたずね平山牧場へと見學のプログラムをつくつて行く

本社主催の婦人見學團……（けさ總督府醫院前に集合のところ）

菅原曹長慘死す
立川飛行隊 偵察機墜落

【前橋電報】十四日午後二時頃立川飛行隊の偵察機が發動機の調節不良のため急旋回して着陸せんとせる刹那埼玉、群馬の縣境埼玉縣大里郡男沼村の桑畑に墜落大破操縦の菅原曹長は慘死し同乘者高須少尉は重傷を負ふた

立川機歸還

【立川電報】立川飛行隊の立川平壤間野外飛行の一〇八九號機は無事成功十四日夜二時立川に歸還

野外劍道試合（けふ奬忠壇）

十九日の午後 京城で軍樂演奏
廿日午後七時半から本社で 艦長の軍事講演

第二艦隊金剛以下三十隻は十八日大連から仁川に入港し二十一日濟州島方面に向つて出港する事になつてゐるが仁川碇泊中の行事は確定通り仁川、京城で軍樂隊の演奏、軍事講演、ラヂオ放送外各種の催しがあり特に軍事講演は二十日午後七時三十分から本社

來青閣 において艦長一名、飛行將校一名（人名未定）の二氏によつてなされ多大の期待をかけられてゐる、仁川碇泊中の京仁の行事は左の通りである

京城見學次第 見學希望者豫定數 准士官以上約二百五十名、下士官兵約六千名

見學日割 團體見學の准士官以上は十九日二十日兩日、下士官兵は十九、二十、二十一日の三日間に略均分ありたし

臨時列車 右見學者のため三日間毎日京城仁川間に左記二往復の臨時列車を運轉す

往路 仁川發 午前七時〇分、同八時二十五分 京城着 午前八時三十分、同十時〇五分

復路 京城發 午後四時〇五分、同六時〇分 仁川歸着 午後五時三〇分、同七時二十五分

長官以下幹部の行動 司令長官司令官所轄長及高級幕僚（約三十名）は四月十九日午後入城二十日午後退城す 第一日（四月十九日）午後一時〇五分仁川發同二時京城着この間總督、憲兵司令官、二十師團長、軍司令官を訪問し昌德宮に伺候の筈

樂隊演奏 軍樂隊は十九日午前九時十分仁川發十時四十分入城一泊翌二十日夜歸艦す 演奏開始時刻 十九日午後四時四十分（約一時間）パコダ公園▲同七時三十分（同）旭町商店前▲二十日午後〇時十五分（同）總督府正玄關▲同四時三十分（約一時間）龍山小學校▲同七時三十分（同）京城放送局

軍事講演 （イ）四月廿日午後七時三十分より京城日報社講堂に於て司令官又は艦長一（約一時半）京城日報社主催▲航空將校一名（約四十分）海軍々事講演會 （ロ）四月二十日午後七時より京城放送局に於て艦長又は士官一名（約一時間）海軍通信講演放送 （ハ）各學校に於ける艦隊將校の軍事講演は希望校照會中

乘馬練習 艦隊乘馬同好會中將校志望者六十名は廿、廿一兩日三十名宛午前八時十分仁川發同八時五十五分龍山驛着朝鮮軍司令部の斡旋により騎兵聯隊指導の下に軍馬を借用して午前中約二時間乘馬練習をなす

訪問 十八日午後艦隊入港後直に仁川府尹、稅關長以下諸官衙長及民間代表者長官を旗艦に訪問す 長官は翌十九日午前九時十分頃府廳に仁川府尹答訪の豫定

歡迎會 十八日午後六時より山手町仁川公會堂に於て官民聯合歡迎會開催長官以下准士官以上百五十名を招待す 右會場に軍樂隊の演奏を乞ふ 右終宴後主なる官民有志にて長官以下幹部十六名を別席に案內す

活動寫眞 十九日夜金剛、二十日夜比叡に於て艦隊乘員のため總督府より活動寫眞係を派遣し朝鮮事情に關する活動寫眞を映寫觀覽せしむ

案內圖 休憩所等 （イ）仁川市街案內圖は在鄉軍人分會、青年會、教育會及婦人會支部の四團體聯合にて四千枚印刷艦隊乘員に寄贈す （ロ）仁川市內三箇所に艦隊乘員休憩所設置しあり （ハ）月尾島遊園地浴場にては艦隊乘員に對し特別の優待をなす

軍艦觀覽 （イ）十九、二十、二十一日の三日間毎日午前九時より十一時半迄及午後一時より四時迄潜水艦以外の軍艦に何艦にても觀覽を許可す （ロ）鐵道局にては拜觀者輸送のため毎日五往復の臨時列車を京城、仁川間に運轉す

二、軍樂隊演奏 （イ）十九日午後六時より約一時間仁川公會堂にて歡迎會出席者の爲演奏 （ロ）同夜七時半より約一時間仁川寺町小學校に於て一般市民のため演奏 京城に於ける演奏は別項に記載

三、軍事講演 艦隊將校の軍事講演希望學校等取調中入港後直に通知す 昨年は仁川京城を通じ約三十校の講演希望申出ありたるに付本年も講話官は相當多數準備せり

官民招待 （イ）二十一日午後零時半より旗艦金剛に總督軍司令官以下主なる官民十八名を午餐に招待 （總督は二十日より地方巡視のため出張に付欠席） （ロ）同日午後二時より旗艦金剛に『アツトホーム』開催官民有力者五百名を招待

左傾教授六名 退職に決定
近く地方長官へ訓令 左傾思想撲滅を圖る

【東京電報】今回の共產黨事件に關し各大學左傾教授の處分につき先般來文部省と帝大側との間に折衝中であつたがその結果東京帝大一、京都帝大一、九州帝大四名を退職處分に附することに內定し十七、八日頃までには正式決定のはずである、なほ文部省は四大學總長と示談交渉後當局を說き學生の赤化思想撲滅の爲近く地方長官各直轄學校あてに訓令を發することに內定した

街頭を彩る 春の天滿市
廿二日から一齊廉賣 餘興は天滿宮で

春の京城をいろどる恒例の天滿市は來る廿二日から廿六日まで開催市內の內地商店では一齊に製品廉賣を行ひ、各戸提灯その他の店飾りを行ひ、一圓以上の買上げに對しては福運を贈呈し、その福運籤は天滿宮境內の引換所で引換二十四日から廿六日まで三日間は毎日午前十時から午後九時まで廿七日は午前十時から午後二時まで廣山天滿宮境內で景品引換を行ふ。なほ餘興としては廿四日から廿六日までの三日間は天滿宮境內で二輪加を催すことになつた

鈴木本町署長 郡守に榮轉
丸五年本町署で 大過なく勤めたと語る

鈴木本町署長は郡守に榮轉し二十年來の警務界を去る事になつたが氏は『まだ正式に辭令を交付された譯ではありませんし何んとも申されません』とは言ひながら次のやうに語つた 大正十二年の三月から本町署に更り五年一ヶ月の間はまづ大過なく今日にいたつた事を皆さんに感謝してゐます、本町署長時代にしました仕事つて、申し上げる樣な事でも別に取立てゝ申し上げる樣な事はありません、催座敷や來賓方面の警戒設備や、合併などは何も私の手腕ではない時勢が促進したのです、まづやりたい事は一通り手をつけましたから今日本町署長をさつても心殘りはありません 任地ですつて―まだ判りません―えゝ今まで警察以外の仕事は一寸もやつた事はありませんからイロハからはじめますよ、何分よろしく』と早くも入郡氣分を見せる（寫眞は鈴木氏）

信田署長は一人で
家族は龍山へ居殘り

信田龍山署長も廿四年の警察界を去つて欝陵島の島守に榮轉したが氏は折柄留守中で夫人に『島流しにあひましたネ』といへば『えゝ主人だけ任地に行きまして私は子供の教育の關係もありますから京城に殘つてゐます』『それでは御主人がさびしいでせう』との記者の言葉に夫人は笑つて『警察界に二十三四年間勤めましたが警察以外は今度が初めてでして、何分よろしくお願ひします』と多くを語らなかつた（寫眞は信田氏）

黄金館大入
昨日から開館

東亞キネマ直營館として半島映畫界に雄飛せんと東亞倶樂部「黄金館」は昨十四日開館したが素晴らしい人氣で開映三十分前すでに札止緘鐵の盛況を呈するに至つた 館の內外も大修理を施し面目を一新したので觀客に非常にいゝ感じを與へて居る。映畫も往時の作品とは全くかけはなれたいゝ作を上映して居る

5―4 大毎勝つ
對早大戰

【東京電報】大毎對早大野球戰は十四日神宮球場で行はれ左の如く五對四の大接戰で大毎の勝となる

大毎	002002001
早大	200020000

バツテリー 大毎―小野 井川 早大―淺倉 伊達

早慶庭球戰

【東京電報】第九回早慶庭球對抗試合は十四日シングルス試合を行つたが慶應二勝一敗の成績を得た

佐藤（早）三―一御田（慶）
原田（慶）三―一萩坂（早）
山岸（慶）三―一長薗（早）

十五日はダブルス試合である

太田選手敗る

【ロンドン十四日發電】英國庭球選手ノーマン、エッチ、ラテフオードは本日ロンドン、ワンズワース、モードリン、パーラ庭球試合で左の如きセンセーショナル大接戰の後日本の太田選手を敗つた

ラテフオード 六―二 九―一一 七―五 太田

5A―1 明大再勝
對ス軍戰

【東京電報】スタクトン對明大第二回戰は十四日早大球場で擧行五A對一で明大再勝す

バツテリー ス軍―白土 桑田 明治―安田 井ノ川

佐々木夫人告別式

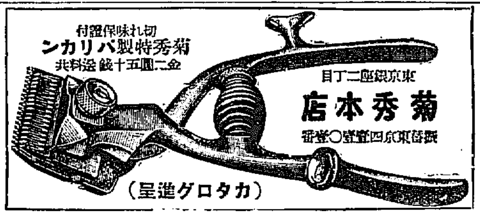
故佐々木帝尾夫人告別式は長沙洞妙心寺で十六日午後四時半執行

高級タクシー メーター附 一哩一圓 最新式自働車到着大衆車 自働車が斬新 料金が正確 長谷川町 京城自働車 電本一〇四〇・二七四四

慢性急性五年十年と胃腸病に苦勞する人 如何にキヽメがあるか是非一度試みられ
胃腸藥 タイト

キヽメ早キハ 無類飛切
胃腸病專門泰斗 獨乙醫學博士 ボアス先生遺方
藥價 金五拾錢 金壹圓 金貳圓 金五圓 徳大 金拾圓
●御注文方法● 到る處有名藥局藥店にあり品切の節は本舗へ御注文願ひます 送料は本舗自辨致します
本舗 大阪市東區內淡路町二丁目 隈田春日堂

東京 尾澤 全治水
たむし 水むし いんきん ひつ ひぜん しらくも はたけ くさ 其他皮膚病一切の良藥
定價 三十錢 五十錢 一圓 全國到る處藥店にあり 發賣元東京神田今川小路三
本舗 合名會社尾澤商店 電話九段五九九番 振替東京一六一二

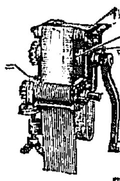
菊秀特製バリカン 切れ味保證付 金二圓五十錢送料共

東京銀座二丁目 菊秀本店 振替東京四〇〇壹番 （カタログ進呈）

花見辨當なら 旭町二の新玉壽司へ 電本七六九番

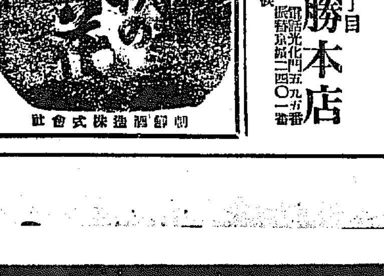
痛快無比の歷史小說 蜂須賀小六
村上浪六先生大傑作出づ

大泥棒で知られて居る蜂須賀小六は戰國時代の一大快男兒であつた。古今を通じて稀に見る豪の者であつた。その小六とその一黨が血湧き肉躍る大活劇！絶世の美女出で、快男兒現はれ、名劍士の大決鬪など何といふ面白さ！痛烈さ！浪六先生が數年間練りに練つた名作、面白いことまつたく天下無比！
キング五月號に掲載 素晴らしい大評判 見落し給ふな！
（全國各地書店にあり）

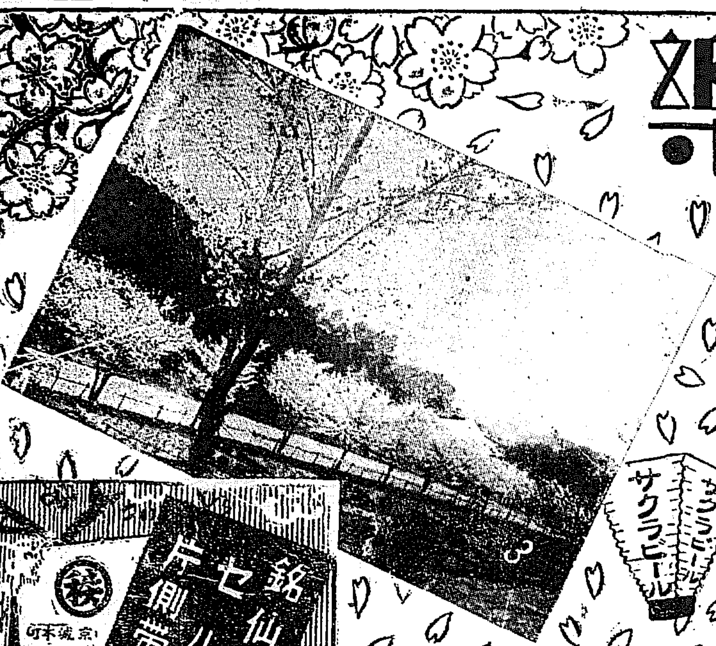
群山競馬大會 自四月十九日 至四月廿二日 四日間 例に依り勝馬投票施行 場所 群山東海岸競馬場 主催 群山競馬倶樂部

久保式ウドンソバ機

使用至極簡便僅か五分間で子供でも美味いうどん、そばが出來る能率一時間うどん二貫目（約一斗）しかも從來の製麺機の價格十分の一でうどん屋そば屋の營業用に使用され一般家庭にも大歡迎さる
特約店募集 特約發賣元 京二浦本町 堺屋金物店 電話本百十番 振替京城八二二六番 （カタログ進呈）

季節向品揃急告 メリヤス類一式、縮クレープ加工品 タオル、ハンカチフ、敷布 男女洋傘、化粧品、諸雜貨
ストロング靴下 アイゼアル靴下 モータ靴下 朝鮮總發賣元
京城府南大門通一丁目 現金卸問屋 瀨戸勝本店 電話光化門五九九番 振替京城二四〇一番
相場表御入用の方へ御申越次第郵送可仕候

皆樣御花見の揃に入りました 其の名に恥かない 高級銘酒 『朝の花』もぜひお伴れ下さい

朝鮮酒造株式會社

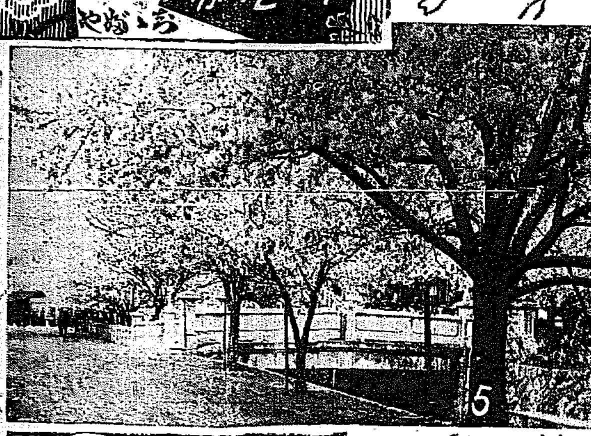
春の行樂



キリンビール

サクラビール

銘仙 セル 片側帯
京城本町



櫻花爛漫

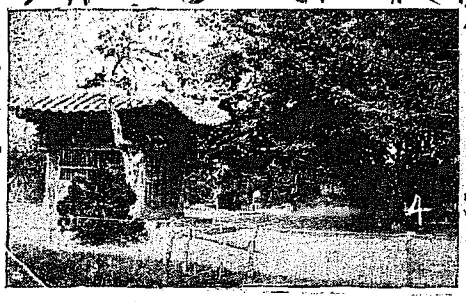
昌慶苑の夜櫻
奬忠壇の櫻花
鳳山遊園の櫻

京城電氣株式會社

春郊彩霞

鎭海の櫻　鎭海公園
馬山の櫻　馬山公園
清州の櫻　鳥致院驛より朝鐵
全州の櫻　裡里驛より乘換
水原の櫻　水原勸業模範場内
牛耳洞の櫻　京元線倉洞驛より
京城の櫻　昌慶苑、奬忠壇
平壤の櫻　平壤公園

總督府鐵道局



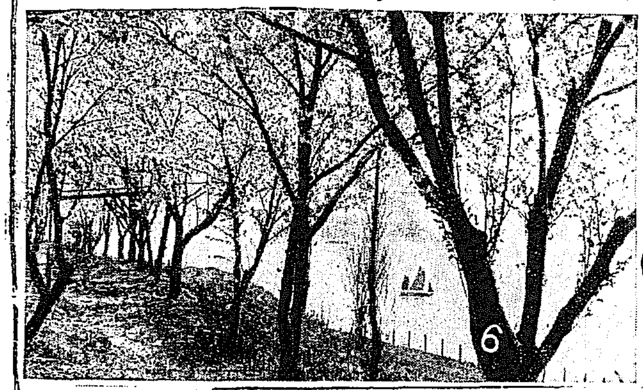
天下の樂園

溫陽溫泉の春色

京城より日歸り又は一夜泊り
天安驛より三十分

朝鮮京南鐵道株式會社

技術優秀なること
價格低廉なること
調製の迅速なること
柄合の嶄新なること
朝鮮一の
京城南大門通
富田屋洋服部



ピクニックの
御用品は
三越へ

キリンビール

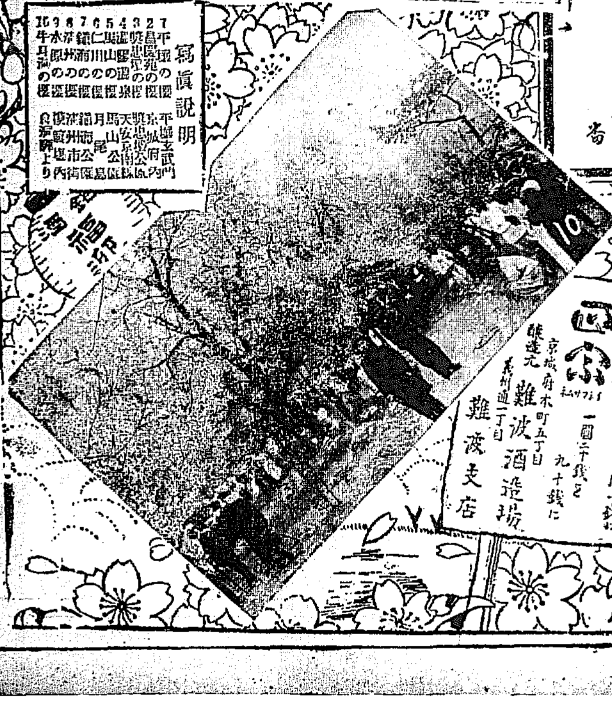
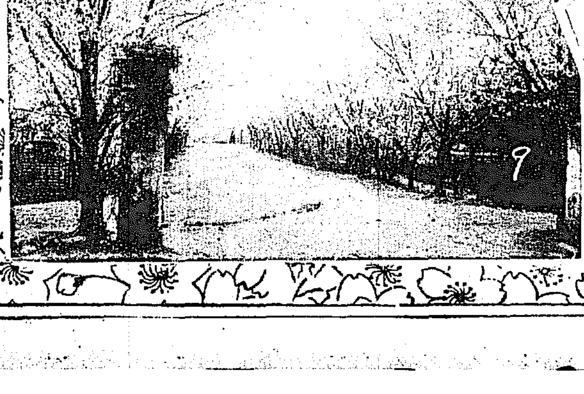
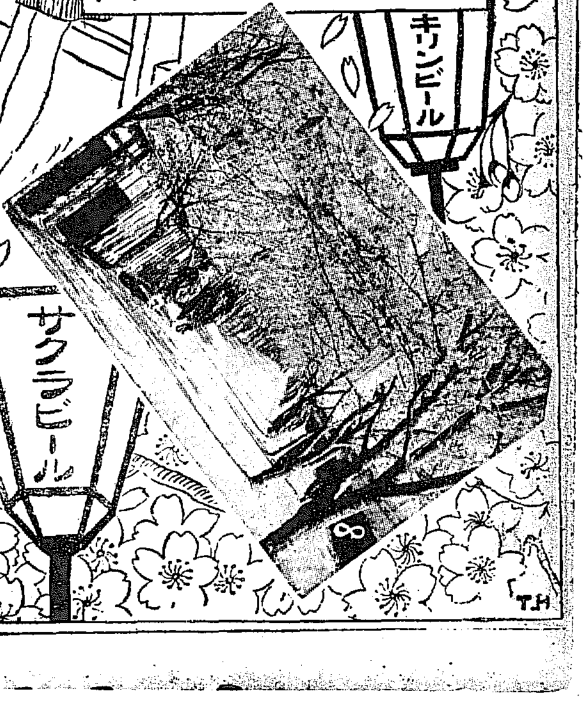
春めぐむ
流行の彩柄豐富よ
胡濱小紋
春の銘仙
染帯側
本セル
英ネル
京城本町二
丸一呉服店

呉服は三中井
洋服も三中井
婦人子供服の流行は三中井より生れる

サクラ正宗

お花見の御辨當は
花月食堂
京城府黄金町二丁目角　電話本局二一五七・三八六〇番

寫眞說明
1 平壤の櫻　平壤玄武門
2 昌慶苑の櫻　京城府内
3 奬忠壇の櫻　奬忠壇公園
4 溫泉の櫻　天安京南線
5 馬山の櫻　馬山公園
6 仁川の櫻　月尾島
7 鎭海の櫻　鎭海市街
8 全州の櫻　全州公園
9 水原の櫻　水原模範場内
10 牛耳洞の櫻　倉洞驛より

優待割引
此券御持參ノ方ニ
一圓八十錢を一圓三十錢に
一圓五十錢を一圓十錢に
一圓二十錢を九十錢に
福迎
榊露
正宗
京城府本町五丁目
醸造元 難波酒造場
義州通一丁目
難波支店

サクラビール

キリンビール

T.H

鎮南浦築港の急速完成を期す
未曾有の盛況裡に市民大會終る

鎮南浦築港期成會市民大會は十四日午後三時から港座で開會座長松井民次郎氏は『在鮮九年間公席にも築港の完成を高唱して來たが實現今日に至るも實現せざるは遺憾である然しながら實現の遲延には府民も

責任の一班 を負ふべきものと思ふ平和の民衆には市民の熱の足らざる事も看過されない公共事は協力化されなければ實現しうべきものでない、よろしく府民は小數の者にまかせず團結と援助を要する事にして平壤の有志も參加されて居るから市民の熱ある聲を聞きその決議を要路に申請したいものである』と結び次いで池田府尹は『鎮南浦築港は交通の要衝に當たり地の利を得て居るから損失は年々加はるのみである』とて府民の一致協力を望み次いで[illegible]の熱辯あり次いで[illegible]六郎氏は[illegible]利用者から見た鎮南浦築港は大連港に優ると[illegible]を擧げて説明し河村[illegible]は北鮮の地圖を示して鎮南浦[illegible]鎮南浦港を利用さるべき當然の理であつて支那[illegible]政策を[illegible]する事は出來ぬ』と述べ永富[illegible]一之輔氏は鎮南浦築港が取り殘されたるは不公平な當局の責任ともいひ難い人まかせの爲でないか』と略に

府民の冷淡 を排し[illegible]して共に進むべきである[illegible]局長に會見の際非公式に鎮南浦築港の話しをしたが同局長は[illegible]の築港を[illegible]された[illegible]上設備なき[illegible]の如きと同一の[illegible]にあらずと説明して居た[illegible]道知事としての[illegible]なれば[illegible]に角局長としての意見なれば[illegible]その[illegible]を[illegible]る爲に[illegible]して運動したいものである、次いで[illegible]、[illegible]三、李[illegible]氏の熱烈な演説あり[illegible]田良二氏は[illegible]と力よりほのほとなつて運動すべしと説き富田儀作氏は平和[illegible]あながち[illegible]からず平和と築港問題は別なりよろしく平和は平和とし[illegible]目を排して死活問題として期成促進に邁進したい』と述べ小林文二氏は[illegible]理を叫ぶは立憲政治の根本である

政治は民意 を聞きて行ふべきものであるこの機會を一[illegible]として平南有志は協力[illegible]に[illegible]むべし[illegible]成らざれば公職者は元山の如く知事を相手にせず總理大臣を相手に總辭職すべし』と激[illegible]する[illegible]あり伊丹[illegible]、[illegible]田[illegible]、長谷川[illegible]雄、[illegible]慶之氏等こもごもたちてこれまた一致協力を説き[illegible]仁太郎氏は子供に菓子の分配をなす[illegible]但し泣く子に早く與へるは人情の然らしむる[illegible]ならん鎮南浦築港は泣かず飛ばず菓子も貰へずかつ[illegible]されて居るではないか今度は天地を[illegible]せる泣き方を必要とする[illegible]鎮南浦の遲れたるゆゑんは知事の[illegible]分捕[illegible]いかんも[illegible]因するがあろう現知事および後任知事等は期成會の出現によつて責任を加重された[illegible]である』とて

當局の努力 を暗に強ひ次ぎに土屋忠次氏は[illegible]生活者の[illegible]デーなどを説きて大いに[illegible]動を與へ松井民治郎氏は築港の遲れたる[illegible]因に小港の[illegible]設を當局に迫る[illegible]も一つであるが本府に鎮南浦築港を完全に設計しうる技術者あるや疑はざるを得ない』とて[illegible]となつて居る[illegible]面の[illegible]息を[illegible]らした次いで[illegible]慶之氏は別項の如き宣言文および決議文を朗讀し滿場の[illegible]成を得直に當局および[illegible]路に打電したこの時午後七時を報じたので時間切迫のため河村[illegible]會者より[illegible]打切りを宣したが一[illegible]は[illegible]ありとて[illegible]鎮南浦[illegible]士の[illegible]を[illegible]したしとはかれば[illegible]田[illegible]氏起ちて同感の意味を述べて滿場にはかり[illegible]ち一致[illegible]成、あらためて[illegible]場を代表し[illegible]田氏より[illegible]を述べ更に市民大會は期成會[illegible]一[illegible]を[illegible]合會に一任して

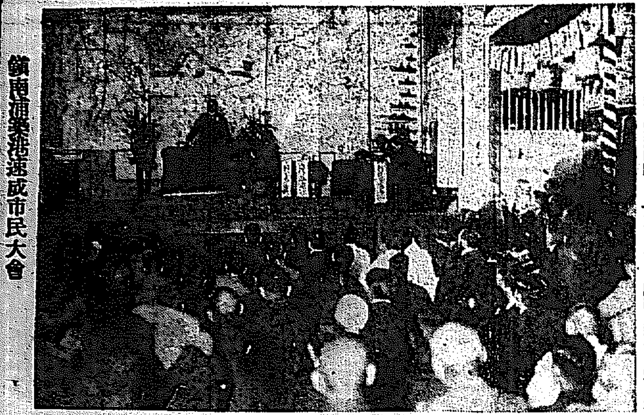
今後の活動 を[illegible]すべくこれ又滿場の賛成を得て[illegible]川[illegible]會長はその[illegible]を述べたに[illegible]し[illegible]會長は微力ながらこの大任を託されたる以上府民の後援と相まち目的達成の爲にまい進すべしと挨拶し次いで松井民次郎氏の發聲にて市民大會萬歳期成會萬歳を三唱して未曾有の盛況裡に午後七時散會した（鎮南浦）

宣言

鎮南浦築港は未完成の儘十數年を閲し交通産業の急激なる發達は當港の貿易に一大進展を加へ今や岸壁極度の虐使によるも尚且つ其機能を果し能はず損失の大なるのみならず延て産業の開發を阻害すること甚大なり現状にして斯くの如し更に平元線滿浦鎮線の起工着手と共に産業增殖計畫に依る昭和、安寧、[illegible]信其他大小水利事業の勃興は西鮮に於ける産業交通の劃期的飛躍を招來すべし然るに當港の現状は之に伴はず即ち其完成は焦眉の急にして其着手は一日を忽せにすべからず茲に急速完成を期する所以なり

決議

鎮南浦築港は未完成にして其現状は貿易の進展に伴はず是れ半島産業開發上の一大缺陷たり更に鎮南浦の擴張及産業施設の增[illegible]行と相俟ち今や一日も忽緒に附すべからざるを痛感し茲に急速完成を期す



鎮南浦築港速成市民大會

月尾嶋の櫻

春も漸く深まらんとするけふこの頃、月尾島のパラダイス月尾島遊園ではつゝじが滿山の緑をぬうて咲き誇ひ名物の櫻も四分通り咲き二十日頃が見頃であらうといはれてゐるが入念なお化粧を施した湖畔ではお目鏡にかなつた二千名の美人ウエートレスを揃へていよいよ十五日からはなばなしく開場した、十八日には第二艦隊三十余隻の入港もあり、觀艦見學と共につゐをひく者も多かるべく花の月尾島はこゝ數日の中に一大樂園と化するであらう（寫眞は月尾島遊園の櫻）

古墳を發掘したら手をつけぬやう
裡里で發掘されたのは高麗末期のものらしい

裡里郊外[illegible]林學校附近林野二十一番地三千余坪を宅地として所有者[illegible]田竹治により開[illegible]中たまたま古墳に逢着し古鏡、壺、金環、陶器類を多數發掘したるは既報の通りであるが本府學務局宗教課の技手小川敬吉、本府嘱託西田明松の兩氏は十三日同地に來裡し高野裡里署長、[illegible]外數名と共に現場に出張し[illegible]器陶器木棺等の破片の發掘品を萬遍なく調査しなほ[illegible]察署に保管中の出土品全部をもカメラに收め據證に取りあげたが右に就き氏は語る

十二日の夕刊を見て當夜出發したのですが出所は全部[illegible]地ならし後で少しは未發掘の個所もあるかと淡い希望を抱いて來ましたが誠に殘念です、出土品に依つて推測すれば先づ高麗末期のもので[illegible]研究者の仲間では八稜鏡[illegible]鏡と名付けて居て他にも此種のものが出て居ます、高麗の時代は[illegible]民族の[illegible]は秩序立つた埋葬と云ふものをしなかつたから可成りの身分のもの、墳墓と云ふ事は疑ふ餘地もありませんが玉冊墓誌などを發見しないから王族や高官のものでもありますまい、只[illegible]とするのは鏡、器等を得た古墳としては陶器類が餘りに貧弱で發掘の際破壞して散棄したが密かに他に持ち出されたのであるまいか、又[illegible]五個のうち一、二個は李朝初期の製作品の如き感じのするものもあり鏡との對照が又變なものになりますけれ共古墳である事乃至鏡が六百年位昔のものである事は確實です、將來もある事ですから是非今後墳墓の發掘移送等は當局の許可の場合は豫め警察當局から常非者に今回の如き發見と同時に現状維持の上速時屆出づる様の注意と作業中の監督とを願ひ度い、明日は全北道廳に行き各種の調査と共に此の件もお願するつもりです（裡里）

寄宿舎から猩紅熱患者
釜山高女恐慌

釜山高等女學校寄宿生猩紅熱患者を出して大騷動を惹し隔離中であつた釜山高等女學校の寄宿舎から又々十四日朝に至つて同寄宿舎生[illegible]子（一七）が猩紅熱患者として認定され更に一週間寄宿生四十八名を隔離することになつたが前回發生した患者より感染したものらしく學校當局者は更に罹病者を出しはせぬかと恐慌を來たして居る因に釜山における猩紅熱患者の發生は本年に入つて以來十六名である（釜山）

玄米を盗む

十日午前十一時頃仁川府[illegible]內の仁川驛ホームにおいて仁川府[illegible]町一丁目一七大和組所有の玄米四斗入叺廿俵を窃取した犯人は十二日仁川署員に逮捕されたが犯人は富川郡多朱面[illegible]里村王某（三一）といひ拔き取つた玄米を税關前にあつた所有者不明の牛車に積込み松[illegible]里八五金世[illegible]の紹介で海岸町[illegible]八に二百余圓で賣却したものだと（仁川）

大田中學の運動部復活

大田中學校では全鮮中學校野上競技大會以來[illegible]の關係で久しく對外運動を中止した爲大田の野球界などは非常な淋しさを感じられて居たが本年度より全鮮中學校野上競技會が廢止となつた爲校友會に經費の運用を生じたるを以て遂に對外運動の復活を見るに至つた即ち劍道、柔道、野球、庭球、蹴球、陸上競技の六部であつてそれぞれ主任職員の決定を見[illegible]週、月、木の三日を課外運動日として大いに體育の鍛錬に努めるはずである、今年の大田の野球界は一段に活氣を呈するものと豫想さる（大田）

舊選手捷つ
平壤野球戰

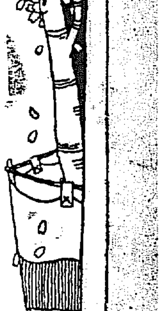
平壤鐵道新選手と同舊選手との初試合は十四日午後四時から平壤公設グラウンドで擧行された、この日新進の若人と老練の舊選手との試合を見んとする野球家を以て觀覽席は埋められた、[illegible]戰は必勝の覺悟をもつて臨み試合は新チームの先攻（球審[illegible]、塁審[illegible]氏）で開始、新チーム火の出る如き大試合を見せたが新進の若人達に老練の貫禄を[illegible]能はず六アルファー對三で舊軍の勝に歸した[illegible]戰六時五分、新チームの[illegible]は彼等に新[illegible]を與ふるであらうと期待されてゐる（平壤）

地方集會

▲記者團招待　神戸辰馬汽船株式會社釜山代理店では十日同社常務取締役辻[illegible]氏の來釜を機とし十一日午後六時より招待し代理店設置の披露を兼ね[illegible]航會對社外船問題に關する經過報告を爲し諒解を得ると同時に今後の對策等に就き懇談する處あり十一時過ぎ散會した（釜山）

地方人事

▲藤原平南內務部長　十四日沼津へ
▲石本內務部長　同上
▲大橋平南每日新聞社長　內地より十四日歸壤
▲山澤大每平壤特派員　十四日京城へ
▲吉村警務課長　同上
▲上原北部[illegible]長　在郷軍人會分會長會議列席のため十四日大邱へ
▲伊達警察部長　十四日朝任地より釜山着任
▲關水[illegible]南內務部長　同上
▲本多靜六博士　十四日朝來釜下山へ
▲小林咸[illegible]產業技師　十四日朝百山へ
▲辻清氏（朝鮮汽船常務取締役）十日群山着十一日京城へ
▲澤村群山府尹　內地出張[illegible]事務打合せの爲十一日上道十二日歸任
▲慶州郡林業組合員廿七名　十九日仁川著同日退仁
▲成北公立師範修學旅行團　廿三日仁川著同日退仁



薩摩義士傳（30）

中村兵衛作　神保朋世畫　（無斷上場上映を禁ず）

靭負の苦笑

島津家の重鎭として、國老として一千人の隼人が、慈父の如くに敬ひ服侍く平田靭負が、今は、たゞその者の如き態度で説き出した時には居並ぶ彼等も、吸附けられたやうに席を縮めた。

靭負は無念の涙を吞んで、まづ天を仰いで長嘆しつゝ、

『おのおの方、決して激昂されてはなりませぬぞ。何事も天なり命なり自然にかく成るものを……恨むなら時を恨め、呪ふならば時を呪へ。徳川將軍の爲に吾々は盡くすのではない。一天萬乘の大君のお爲に、その赤子の苦しむこの尾濃勢三ヶ國の民百姓の爲、と思へば何の恨む所がござらうぞ。まづこの儀を申上げて置いてからの事。

さてこの度の工事に最も大切なは櫃、又は蛇籠を作る竹でござる。これはこの邊りより伐出す時は、大雨の際に一度にドツと山より川へ流れ落ちて、急に水嵩を增す、さすればたゞさへ木曾長良揖斐の三大川が氾濫するものを……よつて竹藪には手がつけられませぬ』

一同は沈默のまゝ、たゞ心に頷くのみ、一座寂として嘆きの聲もない。

『次ぎには松の木材でござる。これ又一の材料でござるが、この邊り植林多く、砂を防ぐ爲に若木を伐らず、老木と雖も保存の要あり。よつてこれまた手を附けられぬとの申渡し。次ぎには石でござるが石は自然の物、いたる所に多くござれど取らうとも又掘らうとも、川々の出水を防ぐ爲に、國土の小石[illegible]堤防なきもの、如くなれども、大石を取入れる時は、かへつて流通往來の妨げとなる由にて、これもまた他領より取寄せ、この邊りの竹木石ともに用ゆべからずとの嚴しい御命令。よつてあすより尾濃勢三ヶ國以外において、之等の材料を求めざるべからず。それゆゑ、各方が怒り……呪ふ所の……[illegible]の價の高いなどの一[illegible]

がち爭ふにおよはず、たゞ笑つて濟ます度量がありたい。各方こゝになほ一言申上げるは、將軍が島津家を取つぶすか、島津家が取つぶされず、これを持ちこたへるかもう之のみでござる。何と千辛萬苦して持ちこたへやうではござらぬか』

最前からヂリヂリして、傍のひだをつかんでゐた若い貞淵。

『アノイヤ國老、われわれ身分者が出過ぎたる振舞ながら、默つて聞いてはをられませぬ。如何に多くある竹や石を用ゆるな。通々他領よりわざわざ取寄せとは、其何に將軍の命なりとも、如何に屈從されませうや。國老理のある所は述べて、われわれとても天子の赤子』

『アッコレ何をいはつしやる。平田靭負は何んも耐忍……なすべき事を行つての上、理のある所は述べん。なさるべき事に理のみはいはぬ……各方堪忍のなす堪忍は誰もする、成らぬ堪忍するが堪忍と……俗に申すではござらぬか……ウワッハ、ハ』

その笑ひには悲しい涙がこもつてゐた。貞淵も漸めてその意のある所を知つてか

『國老……ウム御り申した』

靭負は苦笑のまゝ、一同の顏を見廻しつゝ

『御一統もお判りになつたらな……若年の貞淵氏でさへ、判つたものを……ウワッハ、ハ』

一同は泣いた。そして又笑つた。笑つた目には涙があつた。

靭負はなほいつた。

『たゞ今申した事、各方から名出張小屋へお通じ下さい』

貞淵は總代として

『心得申した。國老の御心中察致す。誰かは苦衷を聞いて泣かぬものがござらう、きつと一同へ傳へるでござらう』

沈默の永吉、竹中、郷の三人は言葉のいふ所に、たゞ追隨して失禮したもの、如く、挨拶もソコソコに辭去した、その他の者も返々を致して靭負に辭辭しつゝある。

演藝案內

大正館　十二日より特別大興行　[illegible]　全卷　…　社會劇 人生の涙 九卷　岩田祐吉、奈良眞養、佐々木清野、林千歳助演　松竹提供　獅る[illegible]円魔 八卷　[illegible]

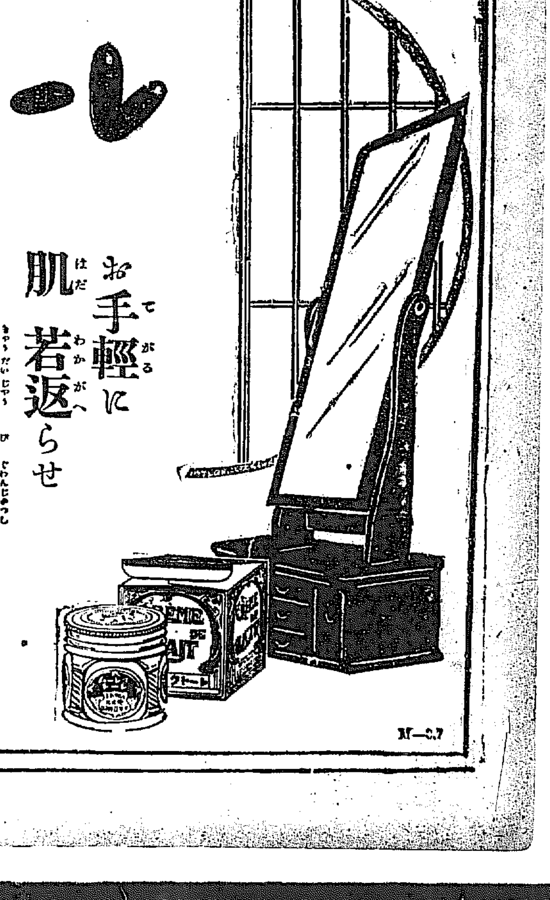
東亞倶樂部（舊黄金館）東亞キネマ直營　十四日より大東亞映畫[illegible]　劍難女難 十二卷（前篇）　原作吉川英治氏　監督石田民三　主演原駒子、嵐[illegible]之介、[illegible]　プラーグの大學生 十卷　[illegible]

京龍館　十一日より上映　日活時代劇部特作　高橋[illegible]作品　小姫[illegible]　鐵路の狼 七卷　仇討走馬燈 七卷　[illegible]

中央館　マキノキネマ　十四日より[illegible]　[illegible]　本壘打王 全七卷　[illegible]

喜樂館　四月十三日より十七日迄五日間特別大興行　日活現代劇部大作品　監督木藤茂　魔の沼 全七卷　根岸東一郎主演　[illegible]　千姫 全十卷　[illegible]

浪花館　四月十六日　春季淨瑠璃會　[illegible]

就寢前の五分間
右は富を安全に……
左は健康を確實に……
共に人生の幸福のために……
赤玉ポートワイン

レートクレーム
お手輕に 肌若返らせ
鏡臺上の美顏術師
洗顏入浴の後本品の少量をすりこみ蒸しタオルを當てれば餘分の脂はさつぱりと取れ、アレたお肌には潤ひを加へてたしかに五つは若返つた水々しい美しさにおなり遊します
お手樣の肌の保健にも白粉刷き化粧の下地にも
小瓶三〇錢　中瓶四五錢　大瓶七〇錢　家庭瓶一圓四〇錢
東京 平尾贊平商店 大阪